

1 億枚達成！ 広がる Visa のタッチ決済

2019年6月末の1,000万枚達成から、3年9ヵ月で10倍に

ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:シータン・キトニー、以下 Visa)は、日本における Visa のタッチ決済対応カードの発行枚数が、2023年3月末で1億枚を超えたことをお知らせいたします。2013年5月に日本での発行を開始した Visa のタッチ決済は、2023年という発行開始10年目のタイミングで、1億枚を達成いたしました。2019年6月末時点で1,000万枚を超えて以降3年9ヵ月で10倍になるなど、ここ最近大きく拡大しています。

1. 消費者の求めるキャッシュレス決済

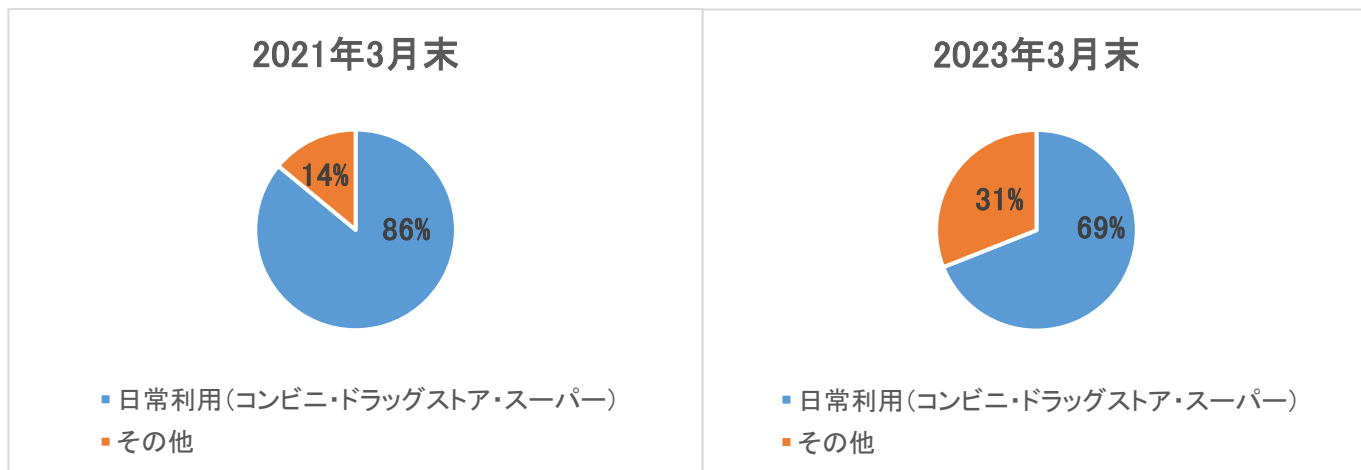
コロナ禍では、「新しい生活様式」としてキャッシュレス決済の利用が推奨される*1など、消費者の意識や行動様式にも変化が求められました。全国のキャッシュレスサービスを利用もしくは、利用意向がある人(20~59歳の男女2,268名)を対象にした調査の結果として、「コロナ前後の意識の変化について、コロナ前に比べてどの程度あてはまるか」という質問に対し、「カード決済時のやり取りを避けたい」(71%)が、「手洗い・うがいの心がけ」(84%)、「3密を避ける」(73%)に次ぐ大きな意識変化として挙げられています*2。また、Visa のタッチ決済の魅力として、「スピーディ」、「おつり/サインの手間がないこと」、および「清潔さ」が上位に挙げられるなど、コロナ禍で求められた変化に適合した決済手段と考えられます。

2. Visa のタッチ決済の利用シーンの広がり と伸び

実際の過去2年の取引件数を見てみると、2021年3月末と2023年3月末の比較では、コンビニ、ドラッグストア、スーパーといった日常利用において、Visa のタッチ決済は大きな伸びを見せています。例えば、コンビニの場合、2年間で約10倍となり、2023年3月末時点で、約2件に1件はVisa のタッチ決済で行われています。ドラッグストア、スーパーについても、それぞれ約12倍、約5倍となっています。また、ご利用いただいている加盟店セグメントにおいても、2021年3月末時点では、日常利用(コンビニ、ドラッグストア、スーパー)がVisa のタッチ決済の全取引件数の86%を占めていましたが、2023年3月末時点では、日常利用以外の加盟店セグメントが全体の31%を占めるなど、利用の幅が広がってきていることがうかがえます。また、Visa のタッチ決済の取引件数も、例えば、「ディスカウントストア」は約100倍、「家電量販店」が約38倍にまで増えています。

*1 厚生労働省「新しい生活様式」の実践例

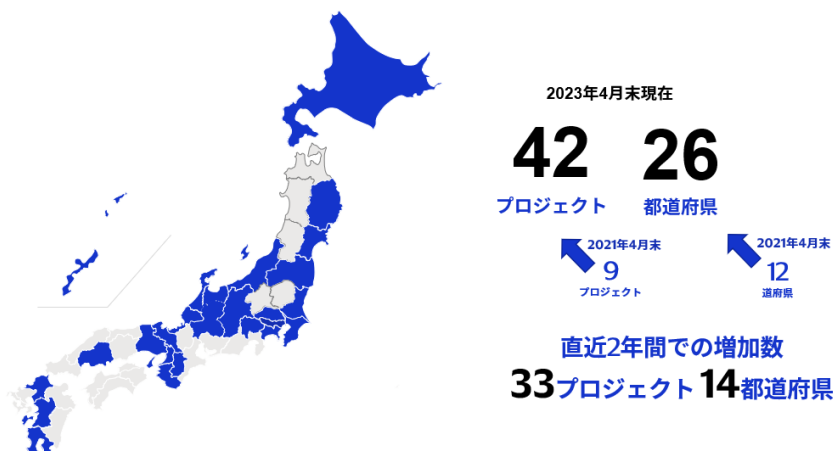
*2 2022年12月「Visa のタッチ決済の利用実態に関する調査」



3. 公共交通機関での Visa のタッチ決済の拡大

また、最近では、Visa のタッチ決済の公共交通機関での導入や発表も相次ぎ、2021 年 3 月末では、11 道府県 8 プロジェクトであったものの、2023 年 4 月末では、26 都道府県 42 プロジェクトと、急速に拡大しています。

国内での公共交通機関でのVisaのタッチ決済の広がり



全世界では、すでに Visa の対面取引の 57%^{*3} がタッチ決済で行われており、650 以上の公共交通機関で導入済です。今後も 2027 年までに、タッチ決済対応カードは全世界で 48%増加すると予想されており^{*4}、ますます世界中で当たり前前の決済手段となっていくと考えられます。国内・海外を問わず、ショッピングも移動も Visa のタッチ決済一つで完了できることで、安心・安全な利便性の高いシームレスな決済体験を提供することが可能と考えています。

特に、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策が緩和された 2022 年 10 月以降は、インバウンド訪日旅行客数も増え、公共交通機関における Visa のタッチ決済の利用件数は、ここ半年で 2.2 倍^{*5} になっています。インバウンド訪日旅行客に行った調査^{*6} では、88%の人が、タッチ決済の導入で公共交通機関の利便性が高まったと回答しています。また、公共交通機関で Visa のタッチ決済を利用した人は利用しなかった人と比べて、日本での月間平均利用額が高く、その差は、海外カード会員の場合は、約 6 割も高くなることがわかっています^{*7}。このことから、公共交通機関における Visa のタッチ決済の導入は、経済波及効果も期待できると考えます。

^{*3} 2023 年 3 月末 VisaNet

^{*4} Juniper Research “Contactless Payments Key Opportunities, Emerging Trends & Market Forecast 2022-2027”

^{*5} VisaNet 2022 年 9 月末と 2023 年 3 月末の比較

^{*6} 2023 年 2 月 Simon-Kucher & Partners 「福岡市交通局利用者に対するインタビュー調査」

^{*7} VisaNet Data Visa のタッチ決済を導入している日本の公共交通機関上位 10 社にて、2022 年 12 月に一回以上タッチ決済を利用した Visa 会員のグループと、そのグループと同様のカード利用動向の Visa 会員グループ(ただし公共交通機関でのタッチ決済の利用なし)の利用動向を比較調査。両グループの 2023 年 1 月および 2 月の月平均利用金額を 2021 年 12 月から 2022 年 11 月までの月平均利用金額と比較。

Visa は、世界中どこでもいつでも誰からも選ばれ受け入れられる決済手段の提供により豊かな生活の実現を目指しています。引き続き、皆様の暮らしのさまざまなシーンでの Visa のタッチ決済の普及により、便利でスピーディーな安心・安全な決済体験の提供を通して、キャッシュレス化の推進へ貢献できるよう努めてまいります。

###

Visa のタッチ決済についての詳細は、こちらからご覧いただけます。

<https://www.visa.co.jp/pay-with-visa/featured-technologies/contactless/contactless.html>

###

【Visa について】

Visa は電子決済の世界的リーダーとして、世界 200 以上の国と地域における決済取引によって消費者、加盟店、金融機関や政府機関をつないでいます。Visa のミッションは、最も革新的かつ利便性や信頼性が高く安全な決済ネットワークで世界を結び、個人や企業、そして経済の繁栄に貢献することです。私たちは、世界中のすべての人にとっての包括的な経済こそが、世界中の人々の生活を向上させ、経済へのアクセスが決済の未来へつながると信じています。詳しくは、Visa.com (英語サイト) または www.visa.co.jp (日本語サイト) をご覧ください。